

探究する扇小

～自主学習ノート～

六年生の探究です。ひょうに降られて、「？」が生まれたようです。あの日は、すごいひょうでした。名前は、どうしてつけたのでしょうか？

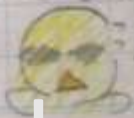
調べ学習。

ひょうについて

雹(ひょう)とは、発達した積乱雲の中から降ってくる、直径5mm以上くらいの氷の塊です。5月～7月、秋など、上空の冷たい空気と、地上の暖かい空気の温度差が大きくなり、大気の状態が不安定なときに発生しやすいです。

あられとのちがいは、直径5mm以上が、ひょうですが、5mm未満のものをあられというように分類されます。

この間、とてもつよい雲がきて、ひょうが降りきました。にわにたまっていたひょうです。→



ビークリー



⑫今日は、ひょうについて学びました。この間分かったので、すぐと調べたいなと思っていて、調べられてよかったです。次は、今、台風7号、8号が来て、ニュースでたくさんやっているの、台風についてしりたいです。氷のかたまりというのがあるから、氷とひょうは違うのに、なぜひょうという名まえがついたのかな。と疑問に思いました。